

次の定例会は **12月** です

住んで楽しい地区にしたいですね。



「貝の会」の皆さん (貝生地区)

# 輝く地域之力

## 白鷹の未来を彩る

### 貝の会 (貝生地区青年会)

… つながりと感謝を大切に…

貝の会の皆さんにお話を伺いました。

**活動のきっかけ**は昔より地域で楽しめることが減っている、子どもの頃はもつと楽しんでいた、という声から、無いなら自分たちで作ろうと会を立ち上げました。

**大花火大会が有名ですが**やってみたことや、あったら楽しいことなどアイデアを出し合い

少しずつトライしてきました。その中で一番有名になったのが「貝生大花火大会」です。昔は盆踊りが一大イベントでしたが、他地区の花火大会と重なって参加者も減り、だつたら貝生で打ち上げようと、平成23年から始めました。

今年は3年ぶり、第10回の記念大会でした。地区の皆さまをはじめ町内外の事業所様のご協賛をいただき、過去最大の700発を打ち上げることができたことに、心から感謝いたします。

**メンバー構成は**20〜30代の20数名です。最初は5名からのスタートで、35名いたこともありました。

**心がけてることは**やっている自分たちが楽しくなければ、みんなを楽しませることはできないという気持ちで大切にしています。ただ、自己満足だけではダメなので、皆さんに楽しんでもらえることとのバランスを常に考えています。



**良かったことは**素晴らしい花火だったという方から言っていたとうれしいですし、来年も頑張らねばと励みにもなります。特に熱く応援していただいている地域の方々には、本当に感謝しています。

**今後は**発足から12年、メンバーも年を重ね、若い世代が少なくなってきました。再編も考えながら、若い人たちが楽しめる活動も楽しめる活動」がキーワードのように感じます。そのために地域の理解と協力、そして感謝の心が大切であることも改めて感じたいところです。



会長の菅原隆之さん

**議会へひとこと**若い衆が元気になれば地域が元気になります。何かしてみたい、何かを変えたいと思っている若者の声を拾い上げて応援していただきたいです。

**取材を終えて**「自分たちも皆さんも楽しめる活動」がキーワードのように感じます。そのために地域の理解と協力、そして感謝の心が大切であることも改めて感じたいところです。

### 編集後記

いまだに新型コロナウイルスに惑わされる日々ですが、着実に変わっている実感もあります。県が新規感染者の全数把握を見直し、市町村ごとの感染者数を発表しなくなりました。

各地区ではお祭りが再開し、鮎まつりや若鮎マラソン大会も開催され、成功裏に終わりました。コロナ禍を吹き飛ばす風が少し吹いてきたように感じます。

9月定例会で令和3年度の決算を認定しました。コロナ禍の中、実質8億9300万円ほどの黒字になったことは評価に値すると思います。

先月、広報研修を受講しました。議会広報誌が皆様にとって評価に値する誌面となるよう、努めてまいります。

### 広報委員

- 委員長 菅原 俊一
- 副委員長・編集長 金田 悟
- 委員 丸川 雅春
- 委員 竹田 雅彦
- 委員 横山 和浩
- 印刷 (有)梅津印刷



お手持ちのパソコンやスマホ等で議会中継をご覧ください。録画でもご覧いただけます。

議会だよりのご意見・ご感想などを議会事務局までお寄せください。